

CASBEE-広島（2010年ver.1）
広島刑務所収容棟E

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2009年版
■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
						評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										2.2
Q1 室内環境							0.40			2.3
1 音環境						2.2	0.15	2.5	1.00	2.4
1.1 騒音						3.0	0.40	3.0	0.40	
1 暗騒音レベル		3.0	1.00			3.0	1.00			
設備騒音対策			-				-			
1.2 遮音		2.2	0.40			2.4	0.40			
1 開口部遮音性能		1.0	0.40			1.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60			3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-			3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-			3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20			2.0	0.20			
2 温熱環境								1.1	0.35	
2.1 室温制御						1.2	0.50	1.0	0.50	
1 室温設定		1.0	0.38			1.0	0.57			
夏期室温(26℃)の確保			-				-			
3 外皮性能		1.8	0.25			1.0	0.43			
4 ゾーン別制御性		1.0	0.38				-			
夏期・冬期の室温制御			-				-			
個別利用			-				-			
利用状況に応じて対応する配慮			-				-			
設備・システム			-				-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20			1.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30					
3 光・視環境						2.4	0.25	2.2	1.00	2.3
3.1 屋光利用				屋光率計算より		3.6	0.30	4.2	0.30	
1 屋光率		4.0	0.60			5.0	0.60			
2 方位別開口			-				-			
3 屋光利用設備		3.0	0.40			3.0	0.40			
3.2 グレア対策		1.0	0.30			1.0	0.30			
眩しさを軽減する			-				-			
2 屋光制御		1.0	1.00			1.0	1.00			
3.3 照度		2.0	0.15			3.0	0.15			
1 照度		2.0	1.00			3.0	1.00			
照度を高める			-				-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	1.0	0.25					
4 空気質環境						4.2	0.25	3.7	1.00	3.9
4.1 発生源対策				全面的にF☆☆☆☆を使用		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0	1.00			4.0	1.00			
ホルムアルデヒド対策			-				-			
臭気対策			-				-			
ばいじん・粉じん対策			-				-			
4.2 換気				屋上から給気している。		4.0	0.30	3.3	0.38	
1 換気量		3.0	0.50			3.0	0.33			
2 自然換気性能			-			4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.50			3.0	0.33			
給気口設置			-				-			
4.3 運用管理				全面禁煙		5.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視			-				-			
2 喫煙の制御		5.0	1.00				-			
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	2.0
1 機能性						1.0	0.40	1.6	1.00	1.2
1.1 機能性・使いやすさ						-	-	1.0	0.60	
1 広さ・収納性			-			1.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応			-				-			
3 バリアフリー計画			-				-			
1.2 心理性・快適性		1.0	1.00			2.5	0.40			
1 広さ感・景観			-			4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース			-				-			
3 内装計画		1.0	1.00			1.0	0.50			
1.3 維持管理			-				-			
1 維持管理に配慮した設計			-				-			
2 維持管理用機能の確保			-		-					
2 耐用性・信頼性						2.9	0.31		-	2.9
2.1 耐震・免震				床にビニル床タイル、天井にPBと耐用年数の長い仕上げ材を使用		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80				-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20				-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.9	0.33				-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23				-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.23				-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09				-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08				-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		4.0	0.15				-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23				-			

	2.3 設備の更新				-		-	
	2.4 信頼性			2.8	0.19		-	
	1	空調・換気設備	非常発電装置を別棟に配置し発電回路は供給している。	1.0	0.20		-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
	3	電気設備		4.0	0.20		-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
	3 対応性・更新性			2.5	0.29	2.0	1.00	2.2
	3.1 空間のゆとり			1.4	0.31	1.0	0.50	
	1	階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ		2.0	0.40	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
	1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
	2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
	4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
	6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.9
1 建物の熱負荷抑制				外皮に断熱材を使用	4.0	0.30		4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20		3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用					3.0	0.50		
2.2 自然エネルギーの変換利用					3.0	0.50		
3 設備システムの高効率化				設備の高効率化による ERR=34.1	5.0	0.30		5.0
4 効率的運用					3.0	0.20		3.0
4.1 モニタリング					3.0	0.50		
4.2 運用管理体制					3.0	0.50		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護					3.0	0.15		3.0
1.1 節水					3.0	0.40		
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.60		
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.67		
2 雑排水再利システム導入の有無					3.0	0.33		
2 非再生性資源の使用量削減					3.2	0.63		3.2
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07		
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				-	3.0	0.20		
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用				建設用汚泥再生処理土、再生クラッシャーラン、集成材	5.0	0.20		
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.05		
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み					3.0	0.24		
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.22		3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32		
3.2 フロン・ハロンの回避					3.5	0.68		
1 消火剤				ハロン消火剤の使用なし	4.0	0.50		
2 断熱材					3.0	0.50		
3 冷媒					-	-		
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮				設備の高効率化による	5.0	0.33		5.0
2 地域環境への配慮					2.1	0.33		2.1
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25		
2.2 温熱環境悪化の改善					2.0	0.50		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					1.7	0.25		
1 雨水排水負荷低減					2.0	0.25		
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25		
3 交通負荷抑制					1.0	0.25		
4 廃棄物処理負荷抑制					1.0	0.25		
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33		3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40		
1 騒音					3.0	1.00		
2 振動					-	-		
3 悪臭					-	-		
3.2 風害、日照阻害の抑制					3.0	0.40		
1 風害の抑制					3.0	0.70		
2 日照阻害の抑制					3.0	0.30		
3.3 光害の抑制					3.7	0.20		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				広告照明なし	4.0	0.70		
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30		